



Beside you 通信 第55号

●お知らせ - コミュニケーションセミナーを開催します -



発達障がいのある学生への理解と支援についてのセミナー

「発達障がいのある学生やコミュニケーションが苦手な学生への対応を考える」

を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和5年12月7日(木) 13:30～14:45

受講方法：<https://meet.google.com/oum-iwit-gmo> (Google Meet)

に各自アクセスください。事前申し込みは不要です。

講師：井上 菜穂 氏 (学生支援センター 准教授)

共同開催：ダイバーシティキャンパス推進室、技術部

この号の内容

- ◆お知らせ
コミュニケーションセミナーを開催します
- ◆活動報告①
第14回中国四国男女共同参画シンポジウムを開催しました
- ◆活動報告②
女子トイレ内への生理用品設置が始まっています
- ◆室員紹介
石本 雄真 准教授 教育支援・国際交流推進機構 教員養成センター
- ◆お役立ち情報
鳥取大学の介護に関する制度のご案内

●活動報告① - 第14回 中国四国男女共同参画シンポジウムを開催しました -

女性研究者支援など男女共同参画に関する取組の一つとして中国・四国地方の10国立大学が実施している“中国四国男女共同参画シンポジウム”を、11月17日(金)に開催しました。本学が当番校である今年度は、キリン研究の第一人者である女性研究者アン・イニス・ダッグのドキュメンタリー映画『キリンを愛した女』を上映し、その後「大学&DEI」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。

『キリンを愛した女』のモデルとなったアン氏は、キリンの研究のためにアフリカに行く際も、大学に職を得て研究を続けようとする際も、偏見やあからさまな性差別によって最終的に研究の場を失ってしまいます。しかし、その後キリン研究について執筆した書籍が若手研究者と彼女とを繋ぎ、その後のキリン研究とキリン保護の礎となりました。



アン・イニス・ダッグとキリン

パネルディスカッションでは、本学の寺本宗正助教(乾燥地研究センター)をコーディネーターとして、学内外の5名のパネリストで「大学&DEI」をテーマに議論しました。パネリストからは「諦めないで好きなことを追い求めることが重要」「研究者を志していた若い頃の気持ちを思い出した」といった研究者としての視点、また子育ての経験者からは「業務との両立に苦勞する部分は確かにあるので、もう少し理解が広がればいいと思うことがある」「自分なりのキャリアを築く必要がある」といった意見、また「困っている人が声を挙げやすい組織になればいい」など、映画を通して多角的な視点での議論となりました。



パネルディスカッションの様子

●活動報告② -女子トイレ内への生理用品設置が始まっています-

ダイバーシティキャンパス推進室では、学生からの声をきっかけに生理用品の無償提供についてアンケート調査や設置実験を提案し、取り組んできました。その結果を踏まえ、11月以降、女子トイレ内への生理用品の設置が順次開始されています(医学部附属病院では職員用トイレに設置。実習中の学生利用可能です)。

女性の生理用品に関する負担は、経済的理由によって生理用品を購入できないという問題をきっかけに、女性だけに生じる心や体、経済的負担の問題として議論されています。鳥取大学では各学部・部署にこの課題についてご理解、賛同いただき、「トイレトペーパーと同じ“必需品”」として安心感のある大学生活をおくれるよう今回の設置に至りました。

★室員紹介 石本 雄真 准教授 教育支援・国際交流推進機構 教員養成センター

10号ほど前、第44号のニューズレターでは、研究支援員制度の利用についてコメントさせていただきました。再び今度は室員として自己紹介させていただきます。44号のときには保育園1年目だった娘も保育園3年目となり、病気で保育園を休むことがすっかりなくなりました。とはいえ、上の息子は保育園から小学校に上がり、いわゆる小1の壁も実感しますし、仕事は(学外のものも含め)年々多くなり、もっと仕事をしたいという思いと、子どもとの時間を大事にしたいという思いの葛藤に毎週のように深く悩まされています。



しかしながら、保育園に送ってからお迎えまでの時間内に業務をこなすという制約は、業務効率をかなり高めてもいます。また、私は学校臨床心理学を専門としているため、子育ての経験が教育、研究、臨床のすべてに活かされるという点においては幸福だと思っています。

大学の業務としては、幼小中高特別支援学校の教員免許取得を目指す学生の支援をしておりますが、それらの学校はまさにダイバーシティの渦巻く世界です。一方で日本の学校はダイバーシティ尊重とは程遠い現状があります。そういった現状を変えていけるような教員を養成し、そういった現状を変えていけるような研究を行い、そういった現状に悩まされる子どもたちやその関係者の支援を行っていくのが私の中のミッションです。これらの経験を活かし、学内でもみなさんが快適に過ごせるよう貢献できればと思います。

★お役立ち情報 - 鳥取大学の介護に関する制度のご案内 -

要介護状態にある家族を介護する職員は、以下の制度を利用できます。

介護の対象となる家族

配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、孫、兄弟姉妹
※同居していれば 父母の配偶者、配偶者の父母の配偶者、子の配偶者、配偶者の子

要介護状態とは・・・

負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり日常生活を営むのに支障がある状態



CHECK

介護休暇 5日(要介護者が2人以上の場合は10日)まで、1日または1時間単位で取得可

要件: 要介護者の介護(通院等の付き添い、介護サービスの提供を受けるために必要な手続きの代行、その他要介護者の必要な世話を含む)を行う場合

※有期契約職員は無給

介護休業 対象1家族につき、通算186日(有期契約職員は93日)まで、3回までの分割取得可

無給ですが、雇用保険による介護休業給付金を受給可(受給要件有、詳細はハローワークへ)。

休業中は、社会保険料等は別途大学へ納付、住民税は普通徴収(自治体へ納付)になります。

☆介護休業を利用しないで長期間にわたり介護する場合は、「介護部分休業」「介護時間」「始業又は就業時刻の繰り上げ又は繰り下げ」も利用可。 ※1日の勤務時間が減る場合は、給与は減額となります。

☆介護のための「超過勤務及び休日勤務の免除」「深夜勤務の免除」の申請(1か月前までに要申請)も可。

※制度の利用には、在職期間、雇用期間、1日の勤務時間(有期契約職員の場合)などの条件があるものがあります。

※原則1週間前までの事前申請が必要です。証明書等の提出が必要になる場合がありますので、早めにご準備ください。

※当初の申請状況に変更があった場合は、届け出が必要です。

詳しくは、【鳥取地区】人事課人事総務係(内線2160)

【米子地区】米子地区事務部総務課人事係(内線7046)・職員係(内線7049又は7050)へお問い合わせください。

発行

ダイバーシティキャンパス推進室

担当理事: 藪田 千登世

室長: 後藤 知伸

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

お問い合わせなどは、下記までお寄せください

総務企画部人事課人事総務係

TEL: 0857-31-5013 又は 内線2160

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室

